

共立湊病院の指定管理者

候補に「聖勝会」選定 下田

下田市内に移転・新築して2011年4月の開院を目指す公設民営病院「共立湊病院」の南伊豆町隣りの運営をめぐり、

元医療法人社団「聖勝会」(同市東中、西川公詞理事長)を新病院の運営団体候補に選んだ。

聖勝会は同市内で内科、小児科、整形外科などを掲げる二つの診療所を運営するほか、療養型病床を持つ上病院の運営にも協力している医療法人。委員らは病院組合の公募に応じた2団体について審査し、地

元の医療法人社団「聖勝会」(同市東中、西川公詞理事長)を新病院の運営団体候補に選んだ。

を「提供したい」と意気込みを語った。

選定委員たちは同法人について、聖マリアンナ医科大学(川崎市)などからの医師派遣や地元医師会との連携確保、地域医療に対する熱意などを評価したとコメント。一方、病院運営の経験不足や財政面などから「十分安心して任せられるとは言えない」とし、病院組合や地域住民の支援や理解が不可欠と述べた。

同法人は今後、1市5

町の市町長による協議や病院組合議会の議決を経て、新病院の指定管理者としての是非を判断される。組合管理者の鈴木史範(南伊豆町長)は「選定委員会の結果は早く受け止めて検討する」という方針を示した。



2009年6月29日

共立湊病院組合

指定管理者に聖勝会

下田で
選定委

9科設置、産婦人科は検討

下田市、伊豆郡一市五町で組織する共立湊病院組合（管理者＝鈴木史徳哉南伊豆町長）の専門委員会による新病院指定管理者選定委員会（伊東一香委員長）は二十八日、第三回委員会を下田市数根の市民スポーツセンター会議室で開き、新病院の指定管理者に下田市の医療法人社団聖勝会（西川公詞代表）を選定し、管理者に報告した。

同組合は第三者機関の
病院改革推進委員会の答
申にもとづき、平成二十
三年四月に京立下田南高
跡地に建設が計画されて
いる新病院の医療を担う
医療法人の公募に踏み切
り、同委員会が五月十一
日から応募を開始し、六
.....

指定管理者の選考結果を
管理者の鈴木南伊豆町長
（右）に報告する伊東委員
長＝下田市数根で

同組合は第三者機関の
病院改革推進委員会の答
申にもとづき、平成二十
三年四月に京立下田南高
跡地に建設が計画されて
いる新病院の医療を担う
医療法人の公募に踏み切
り、同委員会が五月十一
日から応募を開始し、六
.....

月十九日に締め切ったと
ころ、二件の法人から甲
し込みがあった。

同委員会には書類審査な
らびに法人代表とのヒア
リングを行った結果、聖
勝会を新病院の指定管理
者に選考した。

伊東委員長は「二つの
医療法人を十分に検討し
た結果、大学と協力して
医師の確保も地域医療に
対する姿勢と将来的なフ
ランシニングから聖勝会に

決定した」と説明した。
しかし、同医療法人は大
きな病院経営の経験が少
ない点を不安材料の一つ
に挙げた。さらに他の選
定委員会からは「よりベテ
ランな人材とはいえず、安心
してまかせられるという
訳ではない、財政支援を
含めた地域の協力が欠か
せない」と指摘した。

指定管理者の選考報告
を受け、鈴木南伊豆町長
は「新病院の開院に向け
ていく。選定委員会は公
開で行われ、公募を辞退
した共立湊病院関係職員
らが選考結果に重大な関
心を寄せていた。

指定管理者の選考報告
を受け、鈴木南伊豆町長
は「新病院の開院に向け
ていく。選定委員会は公
開で行われ、公募を辞退
した共立湊病院関係職員
らが選考結果に重大な関
心を寄せていた。